

SCが進める23年春のリニューアル

【①リニューアルオープン月日 ②施設運営管理会社 ③店舗面積・店舗数 ④改装の内容】

■PARCO_ya 上野 増床改装で「遊食回廊」オープン

①3月16日 ②パルコ ④松坂屋上野店が営業していた上野フロンティアタワー地下1階を増床改装してパルコヤとし、「国内外の良品」をテーマに日々の「食」を豊かに楽しめる「遊食回廊」を立ち上げる。松坂屋上野店の食品フロアと合わせ地域最大級の食の集積が誕生する

■LaQua (ラクーア) 開業20周年を機に過去最大規模のリニューアル

①23年3~5月 ②東京ドーム・三井不動産 ④23年から24年にかけて東京ドームを含めた「東京ドームシティ」の各種大規模リニューアルを実施。そのうちエンターテインメント融合商業施設のラクーアは、1階に広さ約1000㎡の「フードゾーン」を新設するほか、1~4階のショップ&レストラン約20店舗を新規・改装オープン、9階に「プライベートサウナ」を開業

■丸ビル・新丸ビル 丸ビル開業20周年・新丸ビル開業15周年アニバーサリーリニューアル

①段階的リニューアルが4月に完成 ②三菱地所プロパティマネジメント ③丸ビル：約1万7100㎡、約140店舗、新丸ビル：約1万5800㎡、約155店舗 ④「Your Palette—明日を彩る、わたしを選ぼう。—」をコンセプトに、丸ビル開業20周年の22年9月6日から23年春にかけて段階的にリニューアルを実施。アニバーサリーイヤーのフィナーレとなる第3弾では、4月に改装の目玉となる丸ビル地下1階フードゾーン「マルチカ」、新丸ビル7階の飲食フロア「丸の内ハウス」が完成する。新生マルチカは、エリア就業者のランチ需要のみならず、逸品や各地の名店、土産物、新業態のスイーツなどを集積したバラエティ豊かな食エリアとなる。新生丸の内ハウスは“街のゲストハウス”をテーマに、スパニッシュイタリアン、蕎麦、バーなどで構成。ゆったりとした食事やフロア内のはしごを楽しめる飲食フロアとなる

■東京ソラマチ® 色んな世代が集まれる「みんなの遊び場 ソラフルパーク」新設

①3月17日 ②東武タウンソラマチ ③SC面積約5万2000㎡ ④東京ソラマチ®イーストヤード5階フロアを全面改装して「ちきゅうのにわ」、「HADO ARENA」、「girls mignon」など9コンテンツが集結した、世代を超えて集まり・遊べる、これまでの商業施設になかった新たな遊び場を誕生させる

■三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY 西館に「フードコート」を移転

①3月2日 ②三井不動産商業マネジメント ③約10万2000㎡、約440店舗 ④北館の建て替え計画による一部(70店舗)の一時閉鎖に伴い、北館にあったフードコートが西館1階に移転。席数(約670席)、店舗数(11店舗)とも拡大する。関東初の「ロックスハンバーグ」と「札幌味噌Fuji屋」、千葉県初の豚丼の「豚大学」と「がブリチキン」などが加わった

■イオンモール幕張新都心 新駅開業に合わせ約2年がかりの大規模改装に着手

①今春から段階的に改装 ②イオンモール・イオンモール幕張新都心 ③総賃貸面積約12万8000㎡ ④3月18日のJR京葉線「幕張豊砂」駅開業に合わせ、今春から段階的に改装。「ミライをつくり続けよう。now miraing!」をコンセプトに、段階的(23年春・秋、24年春・秋)に4館合計約120店舗をリニューアルする計画。これにより、地域と共に未来をつくり続ける「エシカルモール」へと生まれ変わる

■シャポー小岩 千葉側エリアを改装し42ショップを一新

①3月30日 ②JR東日本都市開発 ③約6582㎡ ④「食」と「健康」が中心となる地下1階は、これまで東西2カ所に分かれていた売場を中央に集約して利便性、買い回りを向上させる。新店14を含む42ショップが一掃される。生鮮食品ゾーン「こいわ生鮮市場」は移転拡大し新店舗が加わる。これまで以上に生活に寄り添うショッピングセンターを目指す

■東急プラザ表参道原宿 新しい商業施設のカタチとなる「LOCUL」誕生

①23年夏 ②東急不動産 SC マネジメント ③延床面積約1万1852㎡ ④5階フロアに立ち上げる「LOCUL(ローカル)」は、ショップやスモールオフィス、ラウンジ、カフェなどがシームレスにつながった開放的な空間や、イベント・ポップアップスペースなどが設けられる。これに合わせ6階のルーフトップテラス「おもはらの森」も活用して多様な発信を行う

【①リニューアルオープン月日 ②施設運営管理会社 ③店舗面積・店舗数 ④改装の内容】

■ラフォーレ原宿 世界の最新・高感度ファッションを導入・提案

①2～4月 ②森ビル ③延床面積約1万5594㎡ ④“Laforetらしい特別なショッピング体験”をテーマに、「世界の最新・高感度ファッション」と「ラフォーレらしい多様な価値提案」を柱に23年春夏リニューアルを推進。2019年に2.5階全フロアに拡大した、世界各地の気鋭ブランドを扱うセレクトショップ「GR8（グレイト）」を1階エントランスにも拡張し、世界最先端ファッションを提案。1階にカルバン・クライン スタンダードズのラインも扱う「カルバン・クライン」をオープンする。他のフロアにも「中央町戦術工芸」やポップアップショップなどを加え、全館で自由な表現とカルチャーを提案する

■池袋 PARCO ジェンダーレス・エイジレスの館をさらに進める

①2～4月に順次 ②パルコ ④池袋 PARCO は22年4月、本館1階を全面改装してジェンダーレス・エイジレスなグランドフロアをオープンした。今春も引き続き「ジェンダーレス・エイジレス」、「トレンド&カルチャー」をキーワードに約30店舗、約750坪の改装を実施。SNSでも話題のスイーツやトレンド感あるユニセックスのファッションブランドが加わる。本館上層階やP'PARCOにはキャラクター・ゲーム・アニメのグッズショップが導入され、よりバラエティ豊かなビルになる

■Colette・Mare（コレットマーレ） 開業以来の大規模改装グランドオープン

①2月3日全館グランドオープン ②住商アーバン開発 ③3万2827㎡（シネマ、フィットネス含む商業ゾーン） ④JR桜木町駅前の大型複合施設（地下1階～24階、うち地下1階～7階が商業施設）のコレットマーレは、20年より段階的に実施してきた開業（2010年3月）以来初の大規模リニューアルが完了した。20年の第1弾で計27店舗、約1万1000㎡を、21年以降の第2弾でレストランからファッション、雑貨まで全41店舗がリニューアルオープンしている

■カトレヤプラザ伊勢佐木 12年2月の開業以来となる大型改装

①3月から順次、4月28日グランドオープン ②パルコ ③延床面積約7400㎡ ④「地域密着型のライフセンター」としてオープン。今春の初の改装では新規4店舗を含む18店舗が対象。1階「イセザキ市場」内にある「九州屋」、「魚喜」、「肉処大久保」に「もとまちユニオン」が加わる。1階にカフェ併設の「ボンパドウル」もオープン。3階には音楽・スポーツ・グリーンをテーマにした複合施設「LATTEST GREEN」が登場し、砂遊びも楽しめる

■たまプラーザテラス 今春の改装を機にサステナブルなまちづくりをさらに推進

①2月23日から順次 ②東急モルズデベロップメント ③約150店舗（ノースプラザ除く） ④「いっしょにつぎへ。」をリニューアルコンセプトに、新規5店舗、改装5店舗を順次オープン。広場も整備し、「つながる」をテーマにした「サークルコート」や「あつまる広場」、1人で安らぐ「たたずむ広場」へと新装された

■ノースポート・モール 広場を拡充し地域との交流・つながり強める

①3月10日 ②東急不動産SCマネジメント ③賃貸面積約5万6000㎡、約120店舗 ④地域の交流・つながりを育む新たなコミュニティスペースとして地下1階に「のすぽばーく」を新設し、3階の「のすぽひろば」を拡張。のすぽひろばは地域の子育てママ応援をテーマに、母と子が安心安全に楽しく過ごせる場とする。両ひろばとも地域貢献につながるギャザリング活動としてイベントを開催していく

■三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚 16年10月の開業以来初のリニューアル

①3月17日から順次 ②三井不動産商業マネジメント ③約6万㎡、約240店舗 ④飲食・食物販など新規・改装約20店舗が順次オープンするほか、「湘南 Food Hall」を子育てファミリーにやさしい居心地の良いフードコートに進化させ、屋外広場「空の広場」は改修して子供たちが楽しく遊べる開放的な空間にパワーアップする

【①リニューアルオープン月日 ②施設運営管理会社 ③店舗面積・店舗数 ④改装の内容】

■**ミウヰ橋本 駅直結の立地ポテンシャルの最大化を目指す**

①23年春～24年春 ②住商アーバン開発 ③1万3946㎡、約100店舗 ④「Catch&Circulation!!」をテーマに駅直結の立地ポテンシャルの最大化を目指し、リニューアル第1弾を23年春～秋に、第2弾を24年春に実施する。改装ポイントはエリア内の潜在顧客の取り込み強化で幅広い駅利用者の立ち寄り率アップさせることと、顕在顧客へのさらなる深耕によって来館客の買い回りを強化すること

■**ユニモちはら台 開業以来最大規模の改装で店舗総面積の30%超のテナントを入れ替え**

①第1弾3月、第2弾4月 ②JLLリテールマネジメント ③約4万7000㎡、約160店舗 ④改装ポイントとして、1つ目は2階に約1000坪のスペースで「ユニクロ」と「ジーユー」を隣接オープン。無印良品は県内最大級の規模（約660坪）に増床。2つ目は「スターバックスコーヒー」、「久世福商店」、「くら寿司」に続き「ゴディバ」などを順次オープンし、最も出入りが多い入口付近にグルメショップ12店舗を配置する

■**マーサ21 段階的に進めた全館リニューアルがゴールデンウィークに完成へ**

①GWに全体完成 ②カワボウ、イオンリテール ③商業施設面積約4万8000㎡ ④19年からリニューアルをスタート。22年10月の改装で「ヤマダデンキテックランド」と「ホームセンター コーナン」の2大型ショップをオープンしたほか、専門店では新店舗9店を含む28店舗がリニューアルオープン。23年2月にはフードコートを増床し、600席・10店舗体制に。「マーサマルシェ」を中心に食品エリアも増床。さらにGWまでに新店・改装店が11店オープンする

■**京都ポルタ ポルタとザ・キューブが統合し新生「京都ポルタ」誕生**

①3月1日 ②JR西日本京都SC開発 ④京都駅前地下街ポルタと京都駅ビル専門店街ザ・キューブが統合し「京都ポルタ」が始動。統合に合わせて2月中旬から3月下旬にかけて新規7ショップ、移転改装1ショップの計8ショップを順次オープンする。統合後の京都ポルタは延床面積3万5400㎡、ショップ面積約1万5500㎡、ショップ数223ショップの規模に

■**なんばパークス グランドオープン15周年で全4弾にわたる約1年がかりのリニューアル**

①第4弾：3～4月 ②南海電気鉄道 ③延床面積約24万3800㎡ ④グランドオープン15周年記念として「きもち高ぶる、ワンデイトリップ」をコンセプトに、昨年春から約1年かけて改装を実施。完成となる今春の第4弾では、物販店・飲食店など26店舗（新規17店舗・移転5店舗・改装4店舗）が順次オープン。第1弾（22年2月）で19店舗改装、第2弾（22年6月）でミナミエリア最大級のアウトドアショップ「アルペンアウトドアーズ」（約2088㎡）、第3弾（22年9月）では5階にワンフロア展開で「ロフト」がオープンした

■**KUZUHA MALL 「食」の拡充と「SANZEN-HIROBA」の刷新を柱に改装**

①第1弾3月24日、第2弾4月中旬 ②京阪流通システムズ ③営業面積約7万2000㎡、約240店舗 ④「食」の充実を軸にし、フードコートとレストラン街のダイニングストリートの2エリアを重点的に改装。第1弾で新規10店舗、改装30店舗の計40店舗を一新。第2弾ではフードコートを刷新するほか、「SANZEN-HIROBA」に京阪電車で活躍した5000系車両を復刻展示するのに合わせて広場をリニューアル。「何度でも訪れたくなる空間」をつくりあげる

■**アスピア明石 3階を一新して子育てファミリー層への対応強化**

①第Ⅱ期3～4月 ②プライムプレイス ③約1万5422㎡、約80店舗 ④「暮らしに楽しさプラス」をリニューアルコンセプトに、22年の第Ⅰ期で3階を全面改装してファミリー層対応のフロアに。今春の第Ⅱ期は3～4月にかけてグランドフロアの1階をリニューアル。フロア面積の約50%のショップを一新する。3月に地下1階のスーパー「マルハチ」も大幅改装する

■**グランフロント大阪 ショップ&レストラン 開業10周年を機にしたリニューアル**

①春～秋 ③店舗面積約4万4000㎡、約252店舗 ④4月下旬に南館地下1階の「KEYUCA」が移転オープン、6月に「ESTNATION」が南館1階にオープン、今秋には北館2～4階に「無印良品/Café&Meal Muji」が拡大オープン（いずれも関西最大店舗）。2月～秋にかけて物販・サービス店や飲食店23店舗が順次オープンする

【①リニューアルオープン月日 ②施設運営管理会社 ③店舗面積・店舗数 ④改装の内容】

■**京都タワーサンド** 4月1日から一時閉館してカフェエリアなど拡充

①4月下旬 ②京阪流通システムズ ③営業面積 2620 m²、約 45 店舗 ④“あなたの京都旅にマストな「京-Lounge」”をコンセプトに、ニーズの高いカフェエリアを拡大するほか、京都府内に点在する人気の和洋菓子店やスイーツ店を誘致し、地元客や旅行者、外国人も楽しめる施設に

■**天王寺ミオ** 本館6階をワクワクするフロアに一新

①2～4月 ②JR西日本SC開発 ③約3万9000 m² ④JR天王寺駅直結の天王寺ミオが2～4月にかけて新規30ショップ、改装18ショップの合計約50ショップを順次オープンする。強みとしている「ファッションのMIO」に加え、本館6階（売場面積約2000 m²）を来街者がつい立ち寄りたくなる、ワクワクするフロアに一新する。また、フロア中央のイベントスペース「スパイラルスクエア」に約50席のイートインスペースを新設する

■**tete (テテ) 名谷** 神戸市営地下鉄名谷駅ビルリニューアル事業で新施設誕生

①23年夏の1期に北ゾーン新設部分開業 ②JR西日本アーバン開発 ③北ゾーン新設部分の延床面積約2362 m²、南ゾーン（現駅ビル）リニューアル部分同約4691 m² ④地上3階建ての北ゾーンは物販店に加えカフェやワークスペース等を取り込み、利便性の高い立地ながら「ゆったりと落ち着いた環境で、働く・学ぶ・交流する空間」を提供。南ゾーンは24年度中に開業予定

■**PLENTY (プレんティ)** 多世代型のNEWライフスタイルセンターへ

①23年10月 ②こうべ未来都市機構 ③約2万7200 m²、約92店 ④「プレんティ、みらい再発見。」をコンセプトにした大規模改装で子育て世代をメインにアクティブシニアを含めた3世代を対象に、魅力と快適さのある商業施設の具現化を目指す。フードコートの新設や充実した飲食店導入、アトリウムコートやセンターコートにゆっくりくつろげるスペースの創出、キッズコーナーの充実等に取り組む計画